

21世紀における日本の製糸

藤村製絲株式会社

代表取締役専務 坂本 雅

1. 四国から見た製糸の歴史

製糸業界が約100社。最後の群雄割拠時代。

群馬で原料糸。

四国の統一から、西日本で1社に。

2. 国際的産地間競争

国内製糸の競争：21中 北宇和蚕糸・カネボウシルク菊池工場

27中 亀山製糸・笠原工業・カネボウシルク相馬工場

31中 高山社

ブラジル製糸の参入（ブラタク・カネボウブラジル・昭栄ブラタク・コカマール・コベス）

中国生糸の大量輸入。浙江省・山東省等

3. 何故製糸は廃業するのか

繭糸価格安定制度の盛衰

製糸の相次ぐ廃業と日本製糸協会の解散

機屋の国内生糸離れと採算割れ

4. ITの利用

パソコンの利用 1980年

インターネットの普及

商品取引やIP電話

5. 21世紀の日本の製糸は？

品質

デリバリー

多品種小ロット